

第八回 用兵記述 全国文部集会へ結集しよう！

日本帝国主義は、米帝との安保条約一核軍事同盟の強化を進め、日米陸軍実動演習一六日実施、海上保安庁の米海軍との合同訓練來夏実施を予定している。また今夏、教科書検定改悪に対し糾弾の声が巻き起つた南朝鮮の人民の闘いをカイライ、全斗煥フアッショ政権を使って押しつぶさうと、國家総動員法案を黙認し、日韓閣僚会議開催を推進しようとしているのもまた、日帝である。

さなわち今や日帝は、海外派兵によって、南朝鮮をはじめ、東アジアの人民の闘いを弾圧しようとしないのであり、そのことにより、この地に獲得した膨大な権益を確保・拡大しようとしているのだ。

二軍事侵略体制の根柢—入管官体制—

日本独占資本—自民党政権は現在、軍事侵略を行なつにあたつて国内体制づくりを進めんど、人民收奪の強化、全民労協年内発足をはじめとする労働運動の排外主義的とり込み、また、人民の反政府活動を取り締る治安彈圧体制強化などを進めている。そして、軍事侵略の根柢としての反動的入管体制も強化しようとしているのだ。

入管法・外登法を法的根拠に、主要に在日朝鮮人を対象に、二〇項目にわたる外国人登録、外登証常時携帯・呈示、指紋押捺の義務などを課し、一切の政治活動を行う者には国外追放を含む徹底した弾圧を行おうとするのが入管体制である。この体制は南朝鮮の人民に軍事的抑圧を加えんとしている今、在日する朝鮮人民弾圧としての機能を強化されつあるのだ。その一方で、日本人を侵略兵士として狩りだすべく、入管体制のもとで日・朝人民の経済的・社会的不平等を基礎とした民族的優越感・民族排外主義が煽られている。外登法改悪による罰金の大巾引き上げ、コンピューター導入をもつての監視・弾圧の強化、そして天皇制イデオロギーの流布あるいは全国的な自警団の組織化はその現われである。

我々日本人が民族同権を押し進める闘い、即ち、外登法・入管法を撤廃し、政治的・社会的権利の同等を獲得し、南朝鮮・東アジアへの経済侵略を粉碎する闘いは、自らをも解放する闘いとして、増々緊急性を増していいる。

日本帝国主義は、米帝との安保条約一核軍事同盟の強化を進め、日米陸軍実動演習一六日実施、海上保安庁の米海軍との合同訓練來夏実施を予定している。また今夏、教科書検定改悪に対し糾弾の声が巻き起つた南朝鮮の人民の闘いをカイライ、全斗煥フアッショ政権を使って押しつぶさうと、國家総動員法案を黙認し、日韓閣僚会議開催を推進しようとしているのもまた、日帝である。

さなわち今や日帝は、海外派兵によって、南朝鮮をはじめ、東アジアの人民の闘いを弾圧しようとしないのであり、そのことにより、この地に獲得した膨大な権益を確保・拡大しようとしているのだ。

二民闘連全国文部集会に結集しよう

在日朝鮮人の就職差別と闘う連絡協議会の第八回全国文部集会は、全国での指紋押捺拒否者の続出という外登法に対する闘いの高揚を受けて開かれる。各地の、社会保障、教育、就職など民族差別と闘う在日朝鮮人々ループを中心として開催される民間連にてこの学生諸君、結集しよう。

会場	尼崎市立 労働福祉会館
11月20日(土)	記念講演会
11月21日(日)	分科会
11月22日(月)	ラブ・ボジウム
	1. 外国人登録法を考える 2. いま、在日韓国・朝鮮人はどう う生きるか